

## 瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



### 第2クォーター終了~ありがとうございました~

本日をもちまして、無事第2クォーターが終了しました。

前回に引き続き、今回の学習発表会もたくさんのご参加をいただき、誠にありがとうございました。

温かく力強い拍手が送られるたびに、子どもたちは心から嬉しそうな表情を浮かべていました。

お家の方々がウンウンと頷くたびに、子どもたちはとても誇らしそうな表情を浮かべていました。

手を振ったり、感動の涙を流したり、目を見開いて驚いたり細めて喜んだり。

そうしたお家の方々の一挙手一投足が、子どもたちにとてつもないエネルギーを送っていることを改めて感じました。

その様子を見ながら、私は、自分自身の恩師をふと思い出しました。

私にとって、教師人生の原点ともいえる先生です。

その先生は、私が入学した年に学校に赴任してきました。

新しく着任した先生がいる場合は、恒例の行事があります。

「新任の先生」による挨拶です。

その年は、数名の先生が挨拶の壇上に立ちました。

私の担任の先生の順番は、確か3番目。

「みなさんおはようございます。〇〇中学から来た~~~と言います」という挨拶が続く中、担任の先生の出番がやって来ました。

一瞬、体育館全体に「おや？」と言った空気が流れます。  
先生はマイクの方には行かず、ステージの端まで歩いていったからです。  
何かあったのかと皆が不思議に思う中、先生は突如ステージ中央のマイクに向かって全速力で走り始めました。

数歩走ってから、ロンダート、バク転、宙返りをしてマイクの前に着地。  
両手を高らかにあげて、“決め”の姿勢を作りました。

目にもとまらぬ連続技に、生徒一同唖然としています。

先生は、みんなの拍手が収まるのを待ってから大きな声で言いました。

「私は、この学校に体操部を作りたいと思っています！よろしく願います！」

挨拶は無し。

自己紹介も無し。

見たことも聞いたこともない着任の挨拶でした。

そして先生は言葉通り、我が中学校には一度も作られたことの無かった体操部を作り、数々のドラマを起こしました。（今年の三月に定年退職を迎えられたので、当時の仲間と集まって祝賀会を開催しました。教師になった後も交流が続いており、今も私の人生を応援し続けて下さっています。）

そんな先生だったので。

ちなみに、その先生は決して話し上手・教え上手ではありませんでした。

破天荒かつ粗削り。

けれどエネルギーに満ち溢れていて、一緒にいるだけで不思議とワクワクする先生でした。

そして、私が何より憧れたのは、私達生徒が頑張ったことを力一杯に褒め、まるで我がことのように喜んで下さる姿でした。

「ほめる」の語源は、「穂」という文字にあるといえます。

秀でているもの、優れているものという意味もありますが、もともとは互いに祝福し、神に感謝する意で使われました。

「ほめる」というと、良い評価を与えることと思いがちですが、そうではないのかもしれない。

素晴らしいことをともに喜び合う方が、本来の「ほめる」に近いのではないだろうかと思うのです。

本日の学習発表会に参加されたお家の方々は、まさにこどもたちのことを「ほめて」くださっていました。

言葉にも、表情にも、仕草にも、喜びが溢れていました。

こんな風に、自分のことをわがことのように喜んでくれる方が近くにいることは、とても幸せなことなのだと改めて思います。

そして、周りで見下さっていた先生方をはじめ、SOLAN にかかわる様々な仕事をしてくださっている方々も、大いに共に喜んでくれました。

人生における「豊かさ」には、いくつかの物差しがありますが、自分の成長を我が事のように喜んで下さる方々が増えていくことは、明らかに人生の喜びを何倍にも広げてくれるでしょう。

先に書いた私の恩師は、北海道を離れる前に私に手作りのスプーンをプレゼントしてくれました。

「大変なことがあったら、このスプーンであっかいスープでも飲んで、一息ついてから、またポチポチと走り出したらいいよ。道治なら大丈夫。頑張り。」

と送り出してくださった恩師は、私の頑張りを今も我がことのように喜んで下さり、応援し続けてくれています。

そんな輪を、学年の中でもっともっと広げていくこと。

1年生という学年団を、「ほめ」合えるチームにしていくこと。

その伴走者としての立場にある我々大人にとっても、まだまだできることがたくさんあるに違いありません。





早いもので、1年間は折り返しの位置を通過しました。

すくすくと麦穂のように伸びていく子どもたちの成長や頑張りを私も大いに「ほめ」、ともに喜び合える学級・学年を作っていきたいと思います。

第2クォーターも、見えるところ・見えないところで、子どもたちの学校生活をガッチリと支えて下さり、本当にありがとうございました。

皆さんとのご縁をつなげ、深めていながら、共に SOLAN に集う子どもたちを育み、応援していきたいと思います。

(学習発表会や懇談会のご感想など、またお寄せいただけると嬉しいです。いつも素敵なお便りをたくさん送って下さり、ありがとうございます。)



[1 学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](https://www.google.com)